

## 第 22 回 戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知豊川大会

大会テーマ『戦争遺跡の保存活用と次世代への継承』

－ 愛知の戦争遺跡の調査・保存運動とその成果 －

【主催】第 22 回戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知豊川大会実行委員会

戦争遺跡保存全国ネットワーク

【後援】豊川市 豊川市教育委員会 中日新聞社 読売新聞中部支社 朝日新聞社 東海日日新聞社

東愛知新聞社 エフエム豊橋 豊橋ケーブルネットワーク(株)ティーズ

### 1 大会趣旨

今年の戦争遺跡保存全国シンポジウムは愛知県豊川市で開催されます。豊川は豊川稲荷として全国的に名を知られた中世宗教都市の形態を今日に残す地方都市です。

豊川の河岸段丘上に広がる本野ヶ原は、かつて稲作に向かない雑木林が生い茂る土地でした。三河木綿と生糸生産の桑畑、決して豊かではないが平和な村々の生活が一変したのは、海軍工廠の建設が決まってからのことです。昭和 14 年（1939）に僅か 400 人の従業員で開廠した軍需工場は、戦局の拡大と共にその規模を拡大し、最盛期には従業員 5 万 6 千名、総面積 330 万㎡の東洋一の軍需工場に成長します。

工廠の拡大に伴い、電気・ガス・上下水道、道路・鉄道と次々とインフラ整備が進められ、一大軍事都市へと変貌するのです。隣接する豊橋市も陸軍第 1 5 師団の誘致を機に東三河地方の中核都市へと発展する基盤整備が施行されます。アジア太平洋戦争末期には、本土空襲を見据えて遠州灘沿岸には多数の陣地が構築されていきます。

こうした歴史背景を持つ東三河地方には、今日なお当時を物語る戦争遺跡が多数存在します。しかし、その存在は広く人々に知られてはいません。人知れず、劣化と開発の名の下に消えていく戦争の物言わぬ証言者たち。

戦後 70 余年、戦争体験者は全国民の 8 % となり、戦争の記憶は風化して、戦争の遺跡や資料を通して戦争の実相を正しく 2 1 世紀の次世代に継承することがますます重要になっています。戦争の記憶の証人がヒトからモノへ移り変わらざるを得ない今、残存する戦争遺跡活用の必要性は高まるばかりです。

豊川市では今年 6 月 9 日豊川市豊川海軍工廠平和公園が開園します。また、ピースあいちによる草の根の継承活動、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」の開設など、民間・行政で戦争の記憶を継承する新たな拠点が開設されました。

今の世の中の風潮が、第 2 次世界大戦に向かった頃に似ているという戦争体験者の声もあります。国際紛争の当事者として巻き込まれる可能性も高まっているとする意見もあります。今こそ、近代日本が歩んできた歴史を真摯に学び、その教訓を活かす時代だと考えます。

戦後 73 年、かろうじて現存する貴重な戦争の記録として、戦争遺跡を有効に活用することが急がれます。ヒトからモノへ世代を超えて語り継ぐ戦争の実相。その語り継ぎのシステムが構築されるまで残存する戦争遺跡は朽ち果てつつあるその姿を私たちの前にさらしながら待っています。

第 22 回戦争遺跡保存全国シンポジウム愛知豊川大会が、戦争遺跡の保存の現状や課題を明らかにし、相互交流を深めさらに発展させることができるよう皆様の参加を願っています。



② 全国交流会（豊川市民プラザ）

17：30～ 受付

18：00～ 交流会 会費 5,000 円

(2) 8月19日（日） 分科会、閉会集会 多目的室

08：30 ～ 受付

09：00～15：00 分科会

分科会①：「保存運動の現状と課題」（大研修ホール 1F）

分科会②：「調査の方法と整備技術」（視聴覚室 1F）

分科会③：「平和博物館と次世代への継承」（第2会議室 2F）

15：10～16：00 閉会集会

分科会報告

特別決議 大会アピール

閉会挨拶

(3) 8月20日（月） オブショナルツアー（午前中観光バスにて移動）

A コース：豊川海軍工廠平和公園と関連施設の見学

09：00 豊川市勤労福祉会館横出発 豊川市勤労福祉会館横着 11：30 分

B コース：渥美半島の戦争遺跡の見学（詳細別紙）

09：00 豊川駅東口出発 12：30 豊橋駅東口着

（駅の名前が似ていますのでご注意ください！）

(4) 図書交換

8月18日（土）13：00～16：00 視聴覚室（1F）

8月19日（日）10：00～14：00 研修室（1F）

5 参加費など

参加費 一般 2,000 円（1日参加は1,000 円） 大学（院）生 1,000 円（1日参加は500 円）

交流会参加費 5,000 円

昼食弁当代 800 円（8月19日、お茶付き）

オブショナルツアー A コース 2,000 円 B コース 2,600 円

定員になり次第締め切ります。両コースとも、最小催行人数25人で、この人数に達しない時は8月18日か19日に受付にてツアー代金を返金させていただきます。

## 6 宿泊について

宿泊場所については、実行委員会では斡旋いたしません。

下記の案内を参考に予め各自でご手配ください。

### 豊川宿泊案内

① コンフォートホテル豊川 豊川市諏訪3丁目301 電話 0533-80-5111

会場から徒歩8分。8月18日宿泊なら電話で申込時に「隣の市民プラザで宴会に出ます」と言えば、宿泊料は高いときでも5200円になります。(朝食付)【ホームページ有り】

② ビジネス旅館丸進 豊川市諏訪4丁目235番地 電話 0533-86-3708

会場から徒歩1分。【ホームページ有り】

その他、豊川稲荷付近にホテル、旅館有り。会場まで車で10分弱。

また、東名高速豊川インターチェンジ近くにもホテル有り。会場まで車で15分位。

豊橋駅付近にもホテル多数有り。会場までは鉄道乗換かバスで、約30分程。

※【ホームページ有り】の表示はインターネットから検索して予約できるという意味です。

## 7 現地実行委員会組織 (主に豊川海軍工廠跡地保存をすすめる会)

実行委員長 伊藤泰正

副実行委員長 羽鎌田孝

事務局長 幅 国洋 (全国) 山田賢治 (現地)

会計 近藤恵子

## 記念講演講師 伊藤 厚史 氏

1961年生 奈良大学文学部文化財学科卒業

名古屋市見晴台考古資料館学芸員

現在、名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護室 学芸員

「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」アドバイザー

### 著書

『しらべる戦争遺跡の事典』共著 柏書房

『愛知県史 別編 建造物・史跡 文化財1』愛知県

『旧豊川海軍工廠近代遺跡調査報告書』豊川市教育委員会

『フィールドワーク豊川海軍工廠』平和文化、以上、共著

『学芸員と歩く 愛知・名古屋の戦争遺跡』六一書房など



事務局 〒442-0068 豊川市諏訪4丁目116 豊川海軍工廠跡地保存をすすめる会事務局

☎・FAX 0533-85-1199 メールアドレス toyokousyou@yahoo.co.jp